

道徳学習指導案

対象 第2学年

1 主題名 人間の弱さや醜さの克服 3-(3)

2 資料名 「足袋の季節」(「あすを生きる2」日本文教出版)

「人間としての誇りをもって強く生きる」(「心みつめて」東京都教育委員会)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

人間は、自分自身を振り返るとき、自らの内面に言い知れぬ弱さや醜さをもっていることを認めないわけにはいかない。そこで良心によって悩み、苦しみ、良心の責めと戦いながら、呵責に耐えきれない自分を深く意識する。しかし人間は、そのような弱さや醜さを克服していく強さや気高さも併せもっている。そこが人間の素晴らしさである。この人間が内面にもつ二面性への自覚と共感を育てることによって、自己理解と他者理解が進み、人間を愛し、人間らしい誇りある生き方をしようとする心情を育んでいけるものだと考える。

(2) 生徒の実態について

中学2年生の時期は、自分自身に大きな目標がもてず、楽な方、楽な方へと流されてしまう弱さがある。またその弱さを自分自身で認められずに隠そうとするがために素の自分を表せないで、悩み苦しんでいる生徒もいる。自分だけでなく、人間には誰にでも弱い部分や醜い部分があるということに気付かせ、それを克服できる強さや気高さをもっているのも人間なのだということを理解させ、自分自身の良心に耳を傾け、あるべき本来の自分の姿を想像させ、人間らしい誇りのある生き方を求めていこうとする心情を育んでいきたい。

(3) 資料について

少年の頃の主人公が貧困と寒さに耐えられず犯してしまった行為を回想したものである。厳冬の寒さに耐えがたい状況の中で、大福もちを売るおばあさんから釣銭をだましとってしまう。自責と後悔の念が絶えず主人公に残っていた。後日、おばあさんに許しを請いに会いに行くが、すでにおばあさんは死んでいた。人間誰もがもつ弱さや醜さがよく表れており、傷ついた自己の人格的承認の回復を願っていることを深く考えることができる資料である。

終末に読む「人間としての誇りをもって強く生きる」は人間として生きるすばらしさが中学生に分かりやすく書かれており、これを通して、人間としてよりよい生き方を求めていこうとする前向きな心情を育んでいきたい。

4 本時の学習

(1) ねらい

人間には弱さや醜さがあることを理解し、それを克服して人間らしい生き方を求めていこうとする心情を育てる。

(2) 指導過程

	学習活動と○主な発問	・予想される生徒の反応	●教師の働きかけ ○指導上の留意点
導入	<p>1 冬の寒さについて考える。</p> <p>○「冬の寒い日にはどんな格好をするか。」</p> <p>○「もし、手袋も靴下もなく、しかも靴ではなくサンダルしかなかったら、どれくらい寒いだろうか。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セーターを着る。 ・コートを羽織る。 ・カイロを持つ。 ・想像もできない。 ・とても寒いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教師の働きかけ ○指導上の留意点 ●挙手、指名により発表させる。(T1) ○冬の寒い日を想像させる。 ○冬の格好がそろっていない厳しい状況を想像させ、資料の主人公の心情につなげる。 [補助発問]「しかも雪が降り積もっていたらどうだろうか。」
展開	<p>2 資料「足袋の季節」を読み、次のことについて考え、語り合う。</p> <p>発問①「小樽郵便局で働き始めて、冬でも足袋を買う余裕のない生活をしてたわたしはどんな思いだったか。」</p> <p>発問②（中心発問）『五十銭玉だったね』と言われて、思わず『うん』とうなずいたとき、わたしはどんな気持ちだったか。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><小集団による語り合いと書く活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ワークシートに自分の考えを記入する。 2. 小集団による語り合いを行う。 3. 語り合いの後、再び自分の考えをワークシートに記入する。 <p><学級全体で考えを共有する></p> <p>数人が自分の考えを発表し、学級全体で語り合う。</p> </div> <p>発問③「おばあさんの死を知ったわたしはどんな思いだったか。また、わたしがおばあさんに会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもみじめだ。 ・寒くて辛い。 ・とにかく足袋がほしい。 ・四十銭あれば足袋が買える。 ・どうかごまかしたことがばれませんかように。 ・お釣りをまちがえたおばあさんが悪いのだ。 ・悪いとは思っているが、この寒さには勝てない。 ・ごめんなさい。必ずあとで返しにきます。 ・主人公の状況を考えるとごまかしてしまうのも分かる気がする。 ・いくら寒くても、おばあさんをだましてはいけない。 ・もう謝ることができないんだ。 ・自分に腹が立った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●資料名を黒板に貼る。(T2) ●資料を朗読する。(T2) ●発問カードを黒板に貼る。(T2) ●挙手、指名により発表させる。(T1) ●生徒の意見を板書する。(T2) ○主人公の厳しくて辛い生活環境を感じ取らせる。 ●場面絵を貼る。(T2) ●発問カードを黒板に貼る。(T2) ●小集団の語り合いに加わり、語り合いの内容を深める。(T1・T2) ○足袋がほしいという欲求に負け、悪いと知りながらお金をごまかしてしまった主人公を通して、人間の弱さや醜さを考えさせる。 [補助発問]「主人公は本当に悪いことだと思っていたのだろうか。だとしたらなぜごまかしてしまったのだろうか。」 [補助発問]「その後、大福を自分では買に行かず、同僚に頼んだのはなぜか。」 ●挙手、指名により発表させる。(T1) ●場面絵を貼る。(T2) ●生徒の意見を板書する。(T2)

	いに行った行動についてどう考えるか。」	・こんなに後悔するんだっ たら、あの時にだまさな ければよかった。	○主人公の後悔と自責の念を感じ取らせ るとともに、謝って次に進もうという意 欲を感じ取らせる。 [補助発問]「本当はおばあさんに謝ってど うしたかったのだろうか。」
終 末	3 「心みつめて(p146)」を読み、 人間として生きるすばらしさ について考える。 4 今日の授業で感じたこと、考 えたことを書き、発表する。		○人間には弱さや醜さを克服したいとす る気高さがあることを考えさせ、前向き な意欲をもった生き方に希望をもたせ る。 ○弱さや醜さを克服し、よりよく生きる ことについて自分自身を振り返らせる。 ●ワークシートを回収する。(T1)

(3) 評価の観点

- ・人間には弱さや醜さがあることを理解することができたか。
- ・人間の弱さや醜さを克服して人間らしく生きようとする心情が芽生えたか。

5 板書計画

弱さの克服

場面絵

わたしの行動ついてどう思うか。

- ・ 謝れなかった。
- ・ 腹が立つ。
- ・ だまさなければ…

おばあさんの死

わたしの思い

場面絵

うん…。

五十銭だっ
たね。

- ・ 寒くて辛い。
- ・ 足袋が欲しい。

わたしの気持ち

- ・ これで足袋が買える。
- ・ ばれませんように。
- ・ おばあさんが悪い。
- ・ ごめんなさい。
- ・ 必ず返します。
- ・ この寒い状況なら
仕方がない。

人間の弱さ

足袋の季節

小樽郵便局での思い